

平成27年度 第3回神栖市生涯学習推進会議 会議録

日 時 平成27年12月3日(木)

午後1時30分～3時45分

場 所 保健・福祉会館 2階 会議室2

■出席者

委 員：渡邊会長，野口委員，山口(俊)委員，羽生委員，坂本委員，大塚委員，小原委員，松本委員，五十嵐委員（9名）

事務局：伊藤企画部長，山本課長，高安課長補佐，田中主事，長谷川主事（5名）

事務局以外：（株）日本コンサルタントグループ地域経営研究所
中村研究員

■欠席者 委員：野村委員，山口(二)委員，樋口委員（3名）

■傍聴者（定員10名）

0人

■会議内容

1 開会 議長開会あいさつ

2 案件 （1）神栖市生涯学習推進計画の見直しについて

ア 第1章 計画の策定にあたって（修正）

中村研究員より，前回会議の結果を踏まえ修正した「神栖市の現状と課題」案について説明がありました。神栖市生涯学習の特徴として，企業で働く人たちへ在勤中から，生涯学習に親しんでもらえるよう働きかけるという内容を追加しています。

◆意見等 なし

イ 第2章 計画の基本的な考え方（修正）

中村研究員より，前回会議の結果を踏まえ修正した「計画の基本的な考え方」案についての説明がありました。

◆意見等

委員：主な生涯学習関連施設一覧で，第一リサイクルプラザは掲載してあるのに第二リサイクルプラザを掲載していないのはなぜですか。

事務局：第一リサイクルプラザは生涯学習関連事業のひとつとして，環境に関する講座やリサイクルに関わる陶芸教室などを開催しています。第二リサイクルプラザは事業を行っていないため，掲載はしておりません。

ウ 第3章 施策の展開

事務局：生涯学習推進計画の見直しにあたり、10/5、10/6に関係各課（12課、9施設、社会福祉協議会、文化・スポーツ振興公社）へヒアリングを行いました。その結果を盛り込んだ施策の展開（案）となっております。

また、今年度見直しを行っている神栖市スポーツ振興基本計画も反映した内容となっております。

中村研究員：

共通の修正点としましては、（１）、（２）という中区分をなくし、わかりやすいよう施策「1-1-1」といったように枝番をつけて表現をしています。

大きく変更した点としては、スポーツ振興基本計画に合わせて施策1-2-3「茨城国体の開催と競技力向上計画」を追加しております。

◆意見等

基本目標1

会長：文化スポーツ課と並記している施設は何ですか。

事務局：括弧書きで文化スポーツ課（運動施設委託管理者）とさせていただいております。

委員：武道館と表現しないことは、教育委員会の文化スポーツ課と明確に分けるということですか。

事務局：分けるというよりは、文化・スポーツ振興公社も一事業主という扱いで、指定管理者が文化・スポーツ振興公社から変更になる可能性もあるため、「運動施設指定管理者」という表現にしています。

委員：スポーツ振興基本計画の関係で内容が変わることはありますか。

事務局：文章・内容は変わりませんが、こちらは施策に枝番を付けることに変更したため、タイトルが不要となります。

また、主な事業については年末をめどに文化スポーツ課で調整中ですので、そこらは何らかの事業が追加となります。

委員：高齢者スポーツに関して、ねんりんピックはスポーツだけでなく、芸術文化を含めた広域的で有意義な事業なので、推進すべきと思います。市ではどの課が担当窓口となるのですか。

委員：今年はゲートボールや輪投げの種目で出場しましたが、県から長寿介護課へ案内が来て、シニアクラブへ通知がありました。申込みやバスの手配も長寿介護課にお願いしています。

委員：大規模な大会で、分野もスポーツだけでなく囲碁や将棋など多岐にわたります。やはり市役所内の窓口を決めて、もっとフォローした方が、各分野の活動の幅も広がると思います。

会長：どこの部署が良いのか検討し、全般的に取り入れるべきでしょう。

事務局：ねんりんピック関係の詳細及び担当課について確認します。

会長：市民マラソンはもう開催しないのですか。

委員：マラソン大会は経済効果も大きいので、実施できれば良いと思います。

委員：市制施行10周年の記念イベントとして行われたので、今年度のみだと思
います。神之池の周回コースでは道が狭く参加者の接触の危険性など、問題は
いろいろあると思います。

委員：現在は公道の使用も大変難しいようです。

事務局：文化スポーツ課へ確認しましたが、今年度のみ開催だそうです。

基本目標2

委員：外国人向け出前講座や通訳ボランティアは「要望がなく未実施」とありま
すが、PRの仕方も考えなければと思います。

委員：現在も企業などの実習生へ日本語講座等に行っていますが、確かに小さい
企業や個人への働きかけは難しいかもしれません。

事務局：他課では未実施の事業は削除する傾向が多かったのですが、こちらの事
業に関してはヒアリングでも今後も継続していきたいとの意思表示がありまし
た。実施報告書を通じて、今後も動向を見ていきます。

会長：「市民ギャラリー」とは「街角ギャラリー」のことですか。主な施設一覧
に掲載した方がいいのでは。

事務局：「街角ギャラリー」は公共施設ではないので、掲載はしておりません。

伊藤部長：「街角ギャラリー」はシャッター街対策としての意味あいも大きいで
す。

委員：毎回同じ場所でやるのではなく、場所を変えた方が良いのではないでしょ
うか。

会長：施設の改修費用等を考慮すると難しいのでしょうか。

基本目標3

会長：企業関係の担当課窓口はどこになっているのですか。

事務局：企業港湾振興課が窓口になりますが、主に企業誘致の窓口となっていま
す。各課がそれぞれに各事業等に関わっているのが現状です。

委員：今は地域貢献することが企業価値へとつながる時代なので、出前講座関係
で人材バンクの登録制度を活用したり、企業が行う講座などを通じて、もっと生
涯学習の分野へ組み込んでいけるよう、企業と協力していければと思います。

事務局：工場が多いため、専門的な技術を持った方もたくさんいます。退職後そ
の技術や知識を生かせるように、もっと繋がりを構築したいと考えています。

委員：市内にはない講座へ参加する場合など、高速バスを利用することがありま
すが、回数券が廃止されてから負担が大きくなりました。

委員：回数券の復活については、関鉄に伺ったことがあります。できないとい
う回答でした。高速バスもそうですが、デマンドタクシーをもっと使いやすくし
てほしいと思います。とくにシニア世代は免許証を返納されると、利用の際に補

助が出たりすると思います。

伊藤部長：現在公共交通の会議で見直しを行っています。

エ 第4章 計画の推進

委員：目標値に対する実績はどうなっているのですか。ある程度実績を考慮して目標値を見直した方がいいのではないのでしょうか。

中村研究員：講座やボランティアに関しては、5年時点での目標はおおよそ達成しています。ただ、公民館定期講座に関しては、講座数よりも内容の充実に重点を置く方向性となっております。

会長：年度末には正確な達成状況がわかると思うので、さらなる数値目標を設定して達成に向け推進すべきと考えます。

委員：生涯学習に関するホームページの閲覧数が少なすぎるのでは。

事務局：こちらの数字は、市民協働課で管理している生涯学習関連ページの閲覧数のみとなっております。市役所ホームページのどの範囲までを生涯学習のページとして扱うかは難しい問題のため、その点を見直すことでかなり数は変わってくると思います。

中村研究員：また、5年前と違ってSNSで情報共有がされるなど、想定していなかった情報収集手段があります。また、児童館の利用者は主にメルマガで情報を得たり、公民館の利用者は広報紙で情報を得る人が多いなど、市のホームページを見ないで生涯学習情報を得る人も多いと思います。

委員：現状にそぐわない場合には、書き方も工夫された方がいいと思います。

5 その他 今後のスケジュールについて事務局より説明あり

パブリックコメントの実施（平成28年1月12日～2月10日）

生涯学習推進会議の開催、答申案の決定（平成28年2月中旬）

生涯学習推進本部への答申案の報告および答申（平成28年2月下旬）

生涯学習推進計画公表（平成28年3月）

※スポーツ振興基本計画見直しの進捗状況によって前後する可能性があります。

6 閉会

議長：閉会あいさつ